

新年 賀 謹

年頭の「ごあいさつ」

有田川町長 中山正隆

新年あけましておめでとうございます。皆さまには、健やかに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政に對しましてご理解とご協力をいただいておりますことに對し、心より御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、依然、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいました。コロナ禍の中、1年延期されていましたが、第32回オリンピック競技大会（2020／東京）・東京2020パラリンピック競技大会が開催され、日本はもちろん世界中の人々に勇気と希望、感動を与えてくれました。その一方で、7月に静岡県や神奈川県を中心に集中豪雨、8月には九州、北陸、中国地方をはじめ各地で集中豪雨が発生し、日本各地で大きな災害に見舞われました。被災された皆さまには、心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症ワクチン接種では、有田医師会にご協力いただき、町民の皆さまに4月より接種を開始し、10月には希望する皆さまの2回目の接種がおおむね終了できました。今後3回目の接種が始まりますが、有田医師会と協議します。スムーズに接種できるよう進めてまいります。コロナ禍における経済対策では、第2弾応援クーポンの配布、事業継続応援補助金や持続化給付金の支給など、町独自の経済対策を実施しました。町民の皆さまには、今後も感染拡大防止のため引き続きのご協力をお願いいたします。

また昨年は、「聖地 高野山と有田川上流域を結ぶ持続的農林業システム」・「みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム」が同時に日本農業遺産に認定され、大変喜ばしく思っております。今後は、両システムの保全・維持に向けた活動に取り組む

ながら、地域の活性化や所得向上を目指してまいります。藤並館跡についても、保存会・関係者の皆さまのご協力により国史跡指定が実現しました。この貴重な史跡をどのように保存し活用していくか、基本計画を作成し進めてまいります。

本年も皆さまの安心・安全を第一に考え、防災対策、子育て支援、教育・福祉の充実、産業振興、エコのまち・絵本のまちの推進などに取り組み、町の発展に一層の努力をし、移住や定住を考えている皆さまにも、有田川町に住みたいと思っただけの魅力あるまちとするため、まい進してまいりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。